

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和08年07月23日

計画の名称	諫早中央地区都市再生整備計画												
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	諫早市												
計画の目標	本地区は、市役所や商業、医療、福祉、教育文化など様々な都市機能が集積し、広域避難所や指定緊急避難場所など防災上の重要施設も多く立地する本市の中心拠点である。 しかしながら、広域避難所の耐震性不足や避難経路に歩道が整備されていないため、防災機能の向上が急務となっている。 また、モータリゼーションの進展やコロナ禍の影響で交流機会が減少しているため、それらに対応した交流拠点の整備と、国指定重要文化財（眼鏡橋）を有する公園やアーケード商店街など地域資源の魅力向上が課題となっている。 そのため、広域避難所の耐震化など防災機能を強化することで、災害に強い都市形成を図る。また、市民ホールや伝統文化・芸術活動、来訪者向けの物産・観光イベントなどを催す拠点施設を新たに整備することで、交流人口の拡大を図る。 さらに、既存の公園・広場や空きテナントなどを有効活用するとともに点在する地域資源を結び歩行者動線を改善することで、賑わいが連続・連動し活力にあふれるまちづくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	9,575	A	9,575	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6末		R11末
1	市民の防災意識を16%(R6)から50%(R11)に向上 アンケート調査による防災施設の認知度および満足度	16%	%	50%
2	市民交流センターの利用者数を35,825人(R5)から75,000人(R11)に増加 市民交流センターの年間利用者数	35825人	人	75000人
3	公園内の年間イベント回数を9回(R5)から19回(R11)に増加 公園（地区内）で行われる年間のイベント回数	9回	回	19回

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	諫早市	直接	諫早市	—	—	諫早中央地区都市再生整備計画事業	諫早中央地区 86.3ha	諫早市	■	■	■	■	■	9,575		—
											小計						9,575		
											合計						9,575		

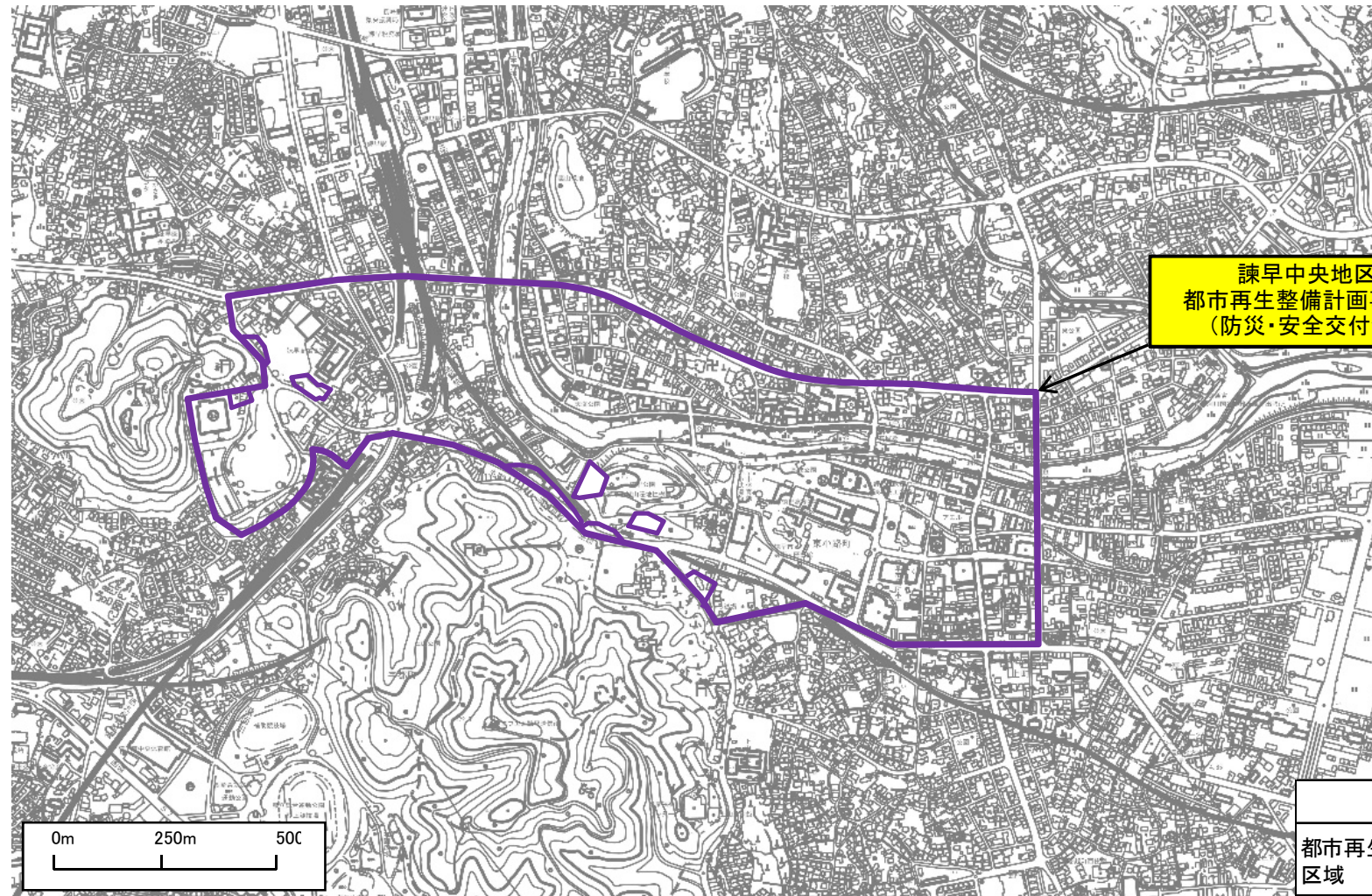
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	136				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	136				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	122				
翌年度繰越額 (f)	14				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)市街地整備

計画の名称	諫早中央地区都市再生整備計画		
計画の期間	令和7年度 ～ 令和11年度（5年間）	交付対象	諫早市



凡 例	
都市再生整備計画 区域	